



資源管理をちゃんとやっている国は釣り人の期待を裏切らない。

先進国では海の資源は国民共有の財産と法に明記されている。  
ところが我が国の法律にはそれがない。

写真はカナダのプリンスエドワード島。資源が回復して2009年から再び遊漁が解禁となった。ただし遊漁はリリースが前提となっている。さらに遊漁船を営もうとする者はリリース講習会を受けなければならない。  
このマグロは漁師でもある船長が自分に与えられている枠を使いキープした。

# 世界のスポーツフィッシング





先進国のほとんどの国にレギュレーションがある。

レギュレーションとは？

サイズリミット（体長制限）

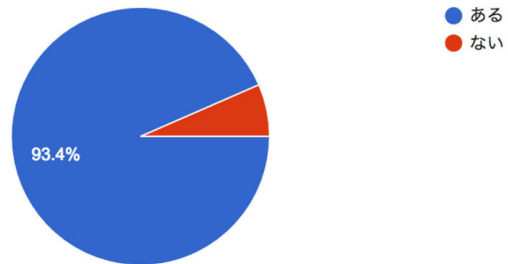
バググリミット（匹数制限）

主にこの二つがある。

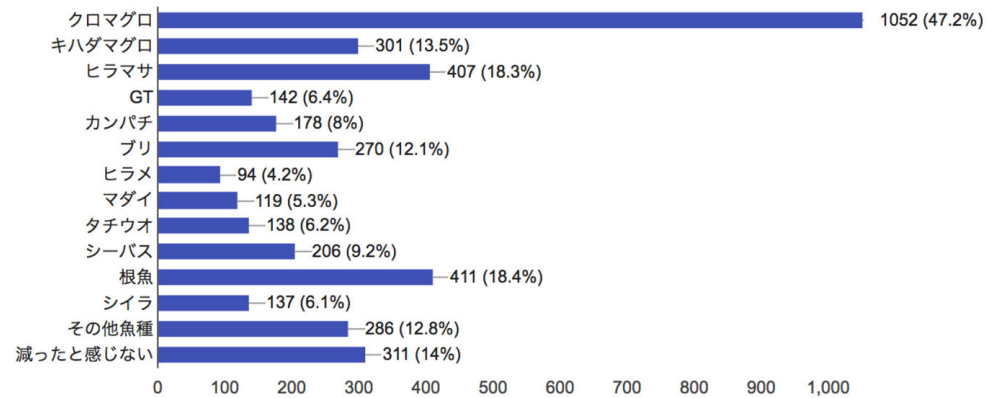
写真はアメリカ・マイアミで釣れたゴライアスグルーパー。1980年代に資源が危機的にまで減少。1990年から全面禁漁。資源は急激に回復して遊漁はリリースを前提として2006年から釣りがOKとなった。

## 世界のスポーツフィッシング

資源保護、資源管理に興味はありますか？ (2229 件の回答)



特に最近魚が少なくなったと感じる魚種を教えてください。 (2229 件の回答)



## 世界のスポーツフィッシング

我が国の釣人の資源管理に対する関心は年々高くなっている。

他の調査ではキャッチ＆リリースを取り入れたところ（中禅寺湖、南西諸島のGTフィッシングなど）は年配層が減り、若い人が増えている。

また資源の減少にも一般の国民に比べ、釣り人は強く気づいている。



## 世界のスポーツフィッシング

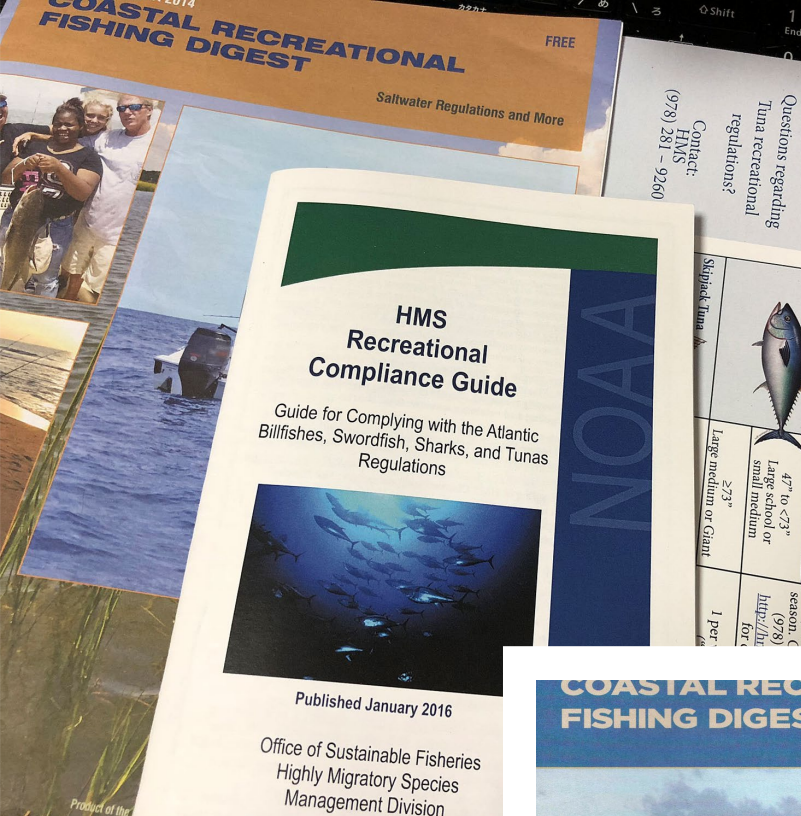


スポーツフィッシング大国アメリカは公共のマリーナがとにかく多い。またボートを上げ下げするボートランプも海岸線のあちこちにある。また日本では禁止されているプレジャーボートのトローリングは多くの海域で普通に行われている。海は国民の共有財産であるということがアメリカで釣りをするとよくわかる。

魚類を含む野生生物は「何もののにも所有されない財産であり、現代の国民と将来世代のために政府による信託の中で保持される」という「公共信託主義」に基づいて、米国民のために政府が管理するものとされている。

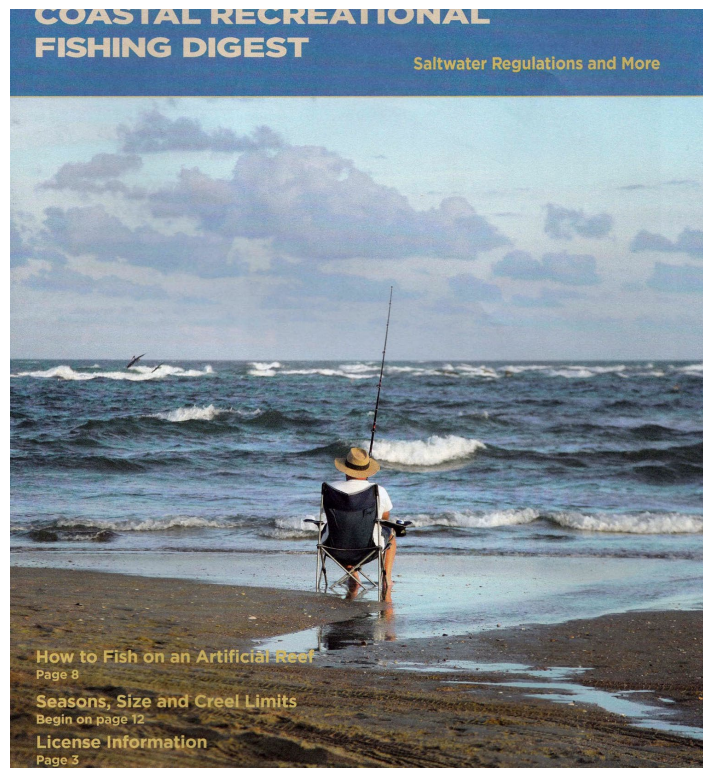
「公共信託主義」 (Public Trust Doctrine)





アメリカ・ノースカロライナ州のレギュレーションブックなど。沿岸の魚は州が管理して、このようなパンフレットが釣り具屋などに置かれて無料で配られている。

アメリカでは50%以上の釣り人が5歳以前に釣りを始めているという統計もある。親に連れられて釣りをはじめ、子供のころからレギュレーションを学ぶ。そのような環境で育った子供は環境や資源管理に関心の高い大人に育つ。



## 世界のスポーツフィッシング

# 世界のスポーツフィッシング

アメリカにはスポーツフィッシングの普及を目的とした大統領令がある。

アメリカにおいては、「釣りの振興」を図ることが政府の重要な任務として、歴史的・社会的に認識されており、「レクリエーショナルフィッシングに関する大統領令（1995 年）」により、連邦政府は「釣りの振興」と「野生生物としての魚類の管理」を連携させた施策を推進するとされている。

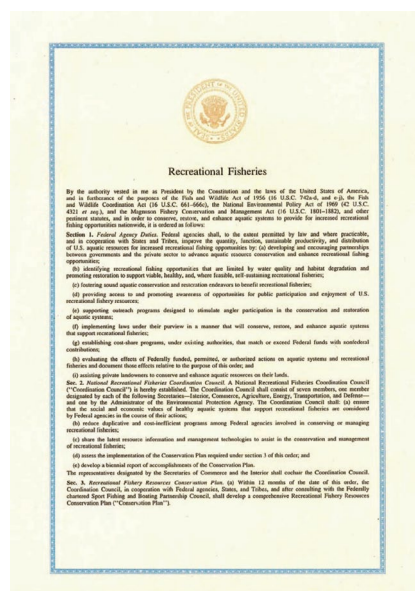


図1 レクリエーショナルフィッシングに関する大統領令（1）

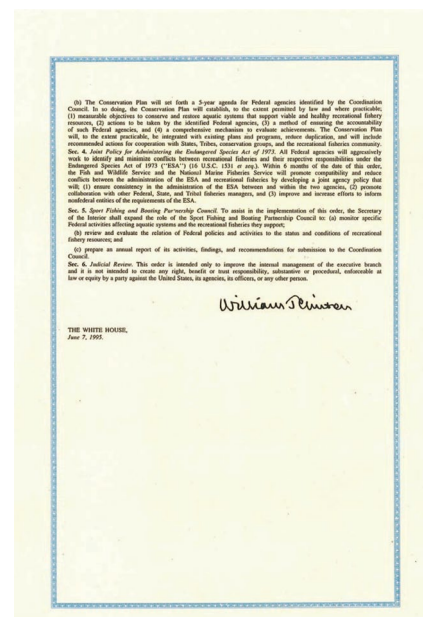


図1 レクリエーショナルフィッシングに関する大統領令（2）



DJ法に基づくSFR (Sports Fish Restoration)基金の流れ。

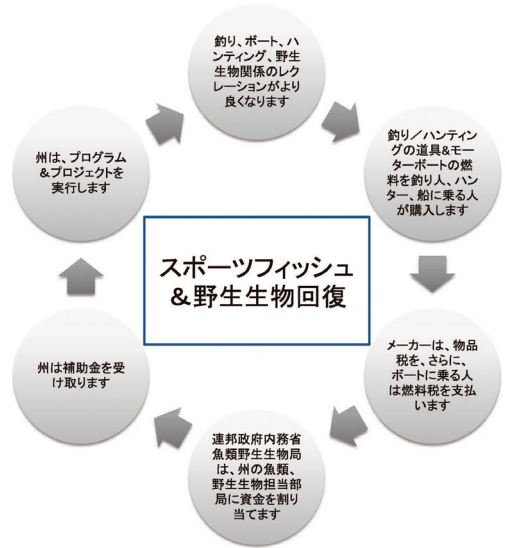
DJ法  
Dingell-Johnson Actは、法制定に貢献した米国連邦議会議員の名にちなむ通称であり、正式名称はSport Fish Restoration Act (スポーツフィッシュ回復法) である。

1950年に制定された法律であり、その目的は、「米国の海洋／淡水域における釣り等に関係する魚類の管理と資源回復に連邦政府からの援助を提供する。」と規定されている。

同法にはこの目的を達成するため、連邦政府と州政府の権限、関係／州における遊漁ライセンス収入の用途の制限／関連事業の内容（定義）とそれらに対する資金の配分／SFRの実施方法 等の事項が定められている。

SFRB信託基金

Sport Fish Restoration and Boating Trust Fund :  
DJ法に基づくSFR等の関連事業の実施に際して、連邦政府からの資金を提供するために設けられている信託基金。  
この信託基金に積立てられる資金の財源やその管理は、DJ法ではなく複数の別の連邦法において規定されている。



\* U.S. FWS のウェブサイトをもとに作成  
図7 サイクル・オブ・サクセス (仮訳)

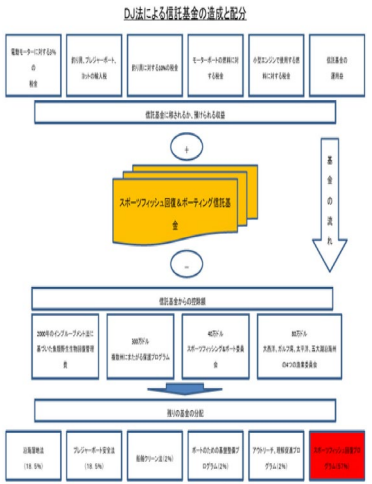


図1 (38 ページ)

世界のスポーツフィッシング

## Where Do the License Fees Go?

When you purchase a Coastal Recreational Fishing License in North Carolina, you are investing in the health and enjoyment of the marine fisheries resource.

By state law, revenue from the sale of Coastal Recreational Fishing Licenses is deposited into two funds depending on the type of license. State law requires spending from both funds be used "to manage, protect, restore, develop, cultivate, conserve and enhance the marine resources of the state."

The N.C. Marine Resources Endowment Fund receives revenue from the sale of lifetime licenses. Only the interest from this fund can be used to fund projects, and the Marine Fisheries Commission has decided not to use it for several years to help build the Endowment Fund's principle. No projects have been financed from this fund.

The N.C. Marine Resources Fund receives revenue from the sale of all other Coastal Recreational Fishing Licenses. It currently supports the N.C. Coastal Recreational Fishing License Grant Program. The fund finances grants for fisheries-related biological research, such as expanding a recreational creel survey; habitat enhancement activities, such as building oyster reefs; and projects that provide public outreach and improve public fishing and boating access, such as boat ramps.

This digest was funded by your license money.

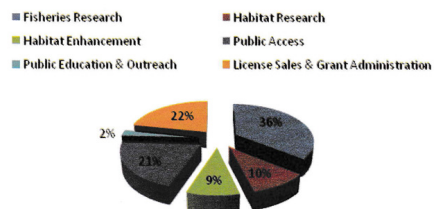
Since 2007, the Coastal Recreational Fishing License Grant Program has awarded more than \$42 million to 104 projects.

This year, the Coastal Recreational Fishing License Grant Program will pay nearly \$1.78 million for 14 grants to help provide coastal fishing access and fisheries and habitat research.

The N.C. Marine Fisheries Commission has approved the following grants for the 2014/2015 fiscal year cycle:

- \$250,000 to the N.C. Wildlife Resources Commission to upgrade the Rose Bay Boating Access Area off U.S. 264, southeast of Scranton in Hyde County;
- \$637,500 to the Onslow Bay Artificial Reef Association to add materials to the Billy Murrell, Meares Harris and Phillip Wolfe artificial reefs in Onslow Bay;
- \$95,000 to the N.C. Wildlife Resources Commission to upgrade the Dawson's Creek Boating Access Area off Janiero Road, northeast of the Minnesott Beach Ferry in Pamlico County;
- \$130,000 to the N.C. Wildlife Resources Commission to upgrade the Turkey Creek Boating Access Area on Turkey Point Road in Onslow County;
- \$49,431 to the Town of Morehead City to add a ramp and restrooms at the Newport River Beach Access on Radio Island;
- \$15,867 to the Town of Carolina Beach to construct a Hatteras ramp to provide better access at the entrance of Freeman Park;
- \$109,357 to the N.C. Division of Marine Fisheries to fund a mu grant to tag striped bass, red spotted seatrout, and southern which will provide independent estimates of abundance and bi well as data on migration rates
- \$17,300 to the N.C. Division of Marine Fisheries to fund a mu grant to continue funding a co fish carcass collection program
- \$111,507 to N.C. State Univ to fund a multi-year grant to s population structure of spotted which will allow researchers to accurately delineate stock bou
- \$40,035 to East Carolina Univ continue research on striped b and provide the N.C. Division of Marine Fisheries and N.C. Resources Commission with d ability to differentiate between and hatchery-reared striped ba
- \$150,616 to the University of Carolina at Wilmington to fur multi-year grant to tag souther flounder, which will provide d incorporated into future stock assessments;
- \$16,500 to the N.C. Division Fisheries for a multi-year grant complete mapping submerged vegetation along the North Ca coast;
- \$145,000 to the N.C. Division of Marine Fisheries to purchase a underwater camera and equipm monitor and study oyster sanc and fish habitat; and
- \$15,000 to the N.C. Division Fisheries to provide additional material needed for oyster hab restoration projects through ce collection of shell from recycli

### Grants Awarded Since 2007



To read about grants funded in p years, go to <http://portal.ncdnr.gov/web/mf/crfl-program>

N.C. Coastal Recreational Fishing Digest -

各州のレギュレーションブックにもライセンス料がどのようなことに使われているか明記されている。

ノースカロライナ州海洋資源寄付基金は、州の沿岸遊漁の終身ライセンスの売り上げ金で運営されており、その基金の利子のみを使い運営されています。

使途としては、主に調査研究費、遊漁の漁獲量の調査、人工漁礁等の設置やパブリックランプ（公営の無料で使えるボートのスロープ）の設置等に使われています。

下図のグラフによると、2007年以後、予算の36%が魚の調査、10%が生息環境調査、9%が生息環境造成、21%がパブリックアクセス（誰でも使えるボートランプ等）、2%が周知と教育、22%がライセンス販売や運営に使われています。釣りや海洋環境、資源回復に多くが使われている。それは未来への投資と釣り人は理解している。

# 世界のスポーツフィッシング





日本から海外へクロマグロを釣りに行く人は2010年ごろから増加傾向にある。これは我が国では年々釣れなくなってきたこと。そしてアメリカ、カナダなどが大きさ、数ともに圧倒的に上回ることが原因である。

釣人のアンケートでも、釣ってみたい魚のトップはクロマグロである。

クロマグロの人気の高い理由は「大きさとパワーとスピードと持久力」である。海外はリリースが基本であるが、それでも年々増えているのは目的が食べることもファイトすることにあるからだろう。

日本国内でもリリースする人は確実に増えている。

## 世界のスポーツフィッシング

# 世界のスポーツフィッシング

無償で配られているレクリエーションアルフィッシングのパンフレット。内容の一部を紹介。

「写真を撮る時も、フックを外す時も、魚を水から出さないこと」

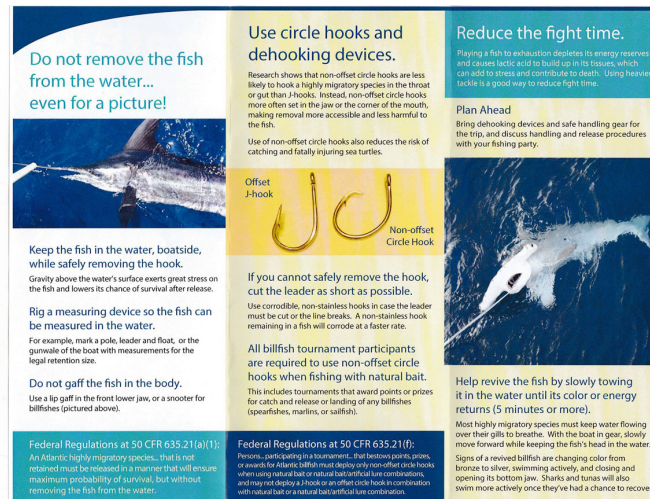
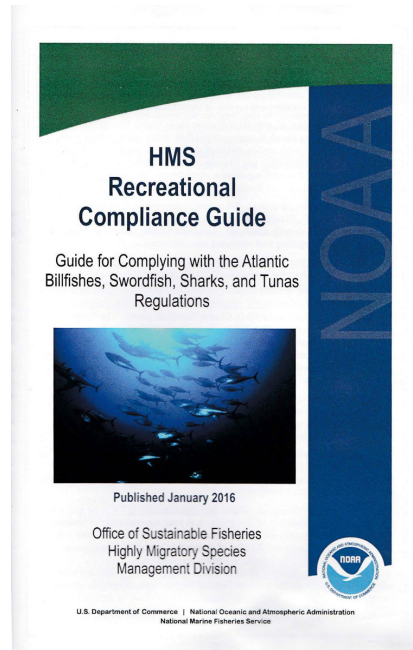
「サークルフックを使うこと。アゴやカンヌキに掛かることが多くなるからリリースの際にフックを外しやすくなる。ウミガメを釣ってしまうことも少なくなる。」

「もしも魚から安全にフックを外せない時はリーダーを切ること。フックはステンレスで無いものを使えば速やかに腐食する」

「よりヘビーなタックルを使ってファイト時間を短くすること。釣られた魚はエネルギーを消費して、組織には乳酸がたまる。これが魚のストレスになり、死につながる」

「釣りに出る時は、フックを外す器具と、魚を安全に扱える用意を携行すること。そして、同行の釣りグループの中で、魚の扱い方とリリースの方法について打ち合わせをしておくこと」

「リリースの際には、ボートなどでゆっくりと魚を引っ張って、5分間以上、蘇生させること。高速で泳ぐ魚種は、エラに水が通らなないと呼吸できない。蘇生が上手くいくと、魚が動き出したり、魚の色が戻ったりすることでわかる」





# 世界のスポーツフィッシング

アメリカのソルトウォーターの釣り（遊漁）経済効果と釣り人口  
※淡水を除く

▶Gulf of Mexico

\$10.4 billion 1兆1000億円 250万人

▶West Coast

\$2.5 billion 2700億円 120万人

▶Alaska

\$618,859,000 700億円 30万人

▶New England

\$1.7 billion 2000億円 100万人

▶Mid-Atlantic

\$3.5 billion 4000億円 200万人

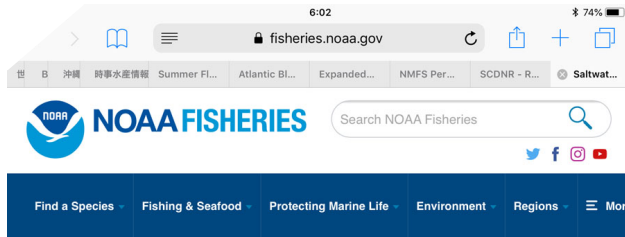
▶South Atlantic

\$5.3 billion 6000億円 220万人

▶Atlantic Highly Migratory Species

\$632,000,000 700億円

合計 2兆7100億円 920万人



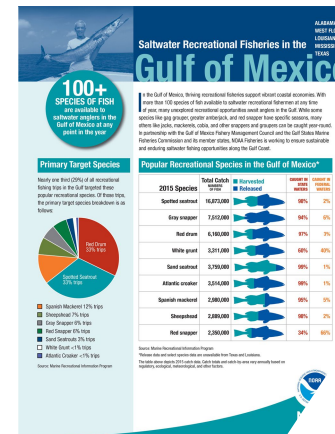
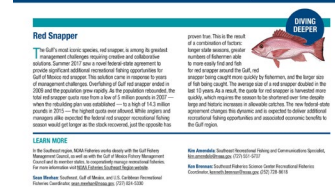
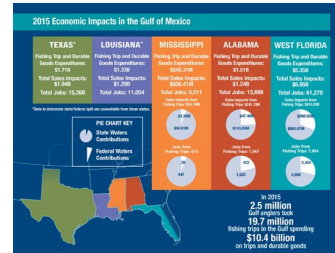
NEWS

## Saltwater Recreational Fisheries Regional Snapshots

October 11, 2017

Feature Story |

Alaska, New England/Mid-Atlantic, Pacific Islands, Southeast, West Coast, National



## Summer Flounder

Implementing regulations are found at 50 CFR part 648 subpart G

The summer flounder fishery in the U.S. operates from Maine to the North Carolina/South Carolina border. Summer flounder is one of the most sought after commercial and recreational fish along the Atlantic coast. Summer flounder is found in inshore and offshore waters from Nova Scotia, Canada, to the east coast of Florida. Summer flounder are mainly caught in bottom otter trawls, but are also taken by pound nets and gillnets in estuarine waters. The market for summer flounder is for human consumption and is primarily sold fresh.



Summer Flounder (*Paralichthys dentatus*)

Announcements General Scientific Quotas Permits Commercial Recreational Reporting

Quota Monitoring - [click here](#)

### 2018 Annual Summer Flounder Specifications (January 1-December 31)

Overfishing Limit (OFL)	18.69 million lb
Acceptable Biological Catch (ABC)	13.23 million lb
Commercial Annual Catch Limit (ACL) and Annual Catch Target (ACT)*	7.51 million lb
Recreational ACL and ACT	5.53 million lb
Commercial Quota*	6.44 million lb
Recreational Harvest Limit (RHL)	4.42 million lb

\*Incorporates reductions for 2016 overages. The initial 2018 commercial ACL/ACT was 7.70 million lb and the initial 2018 commercial quota was 6.63 million lb.

### 2018 State Commercial Summer Flounder Allocations

State	Percent Share	Initial Commercial Quota (lb)	Adjusted Commercial Quota (lb)**
Maine	0.05	3,152	3,061
New Hampshire	0.0005	30	30
Massachusetts	6.82	451,998	404,742
Rhode Island	0.0005	30	30

## 世界のスポーツフィッシング

アメリカの水産業は多くの魚にTAC（総漁獲可能量）が設けられているが、コマーシャル（漁業）とは別にレクリエーショナルにもクォータ（漁獲枠）が設けられている。

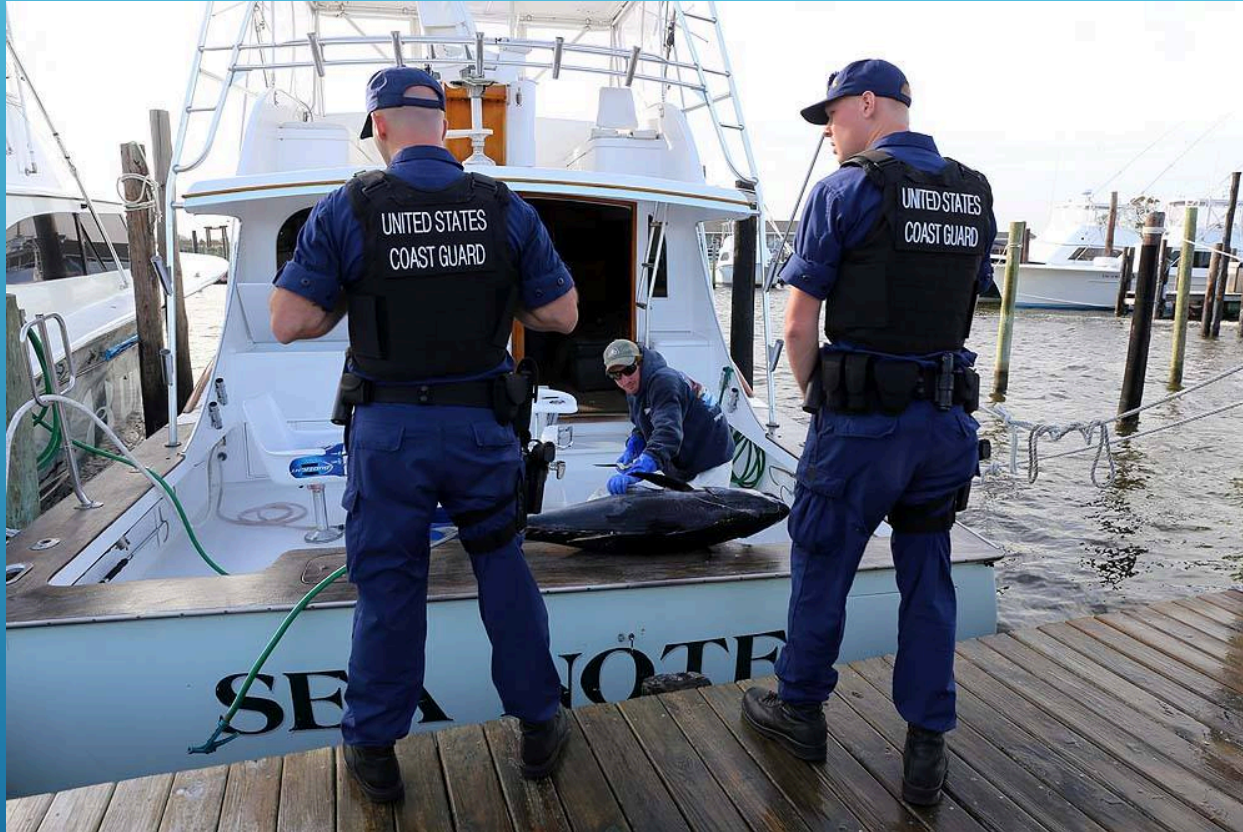
ただしレクリエーショナルフィッシングで釣った魚は買うのも売るのも違反である。レストランなどに持ち込みも禁止されている。そうやって市場での値崩れを防ぎ、専業漁師の生活を守っている。

こんな話も聞いた。

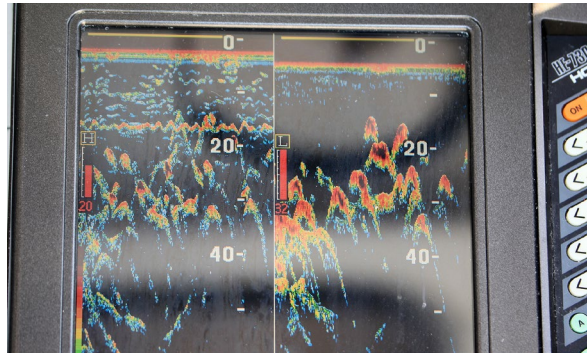
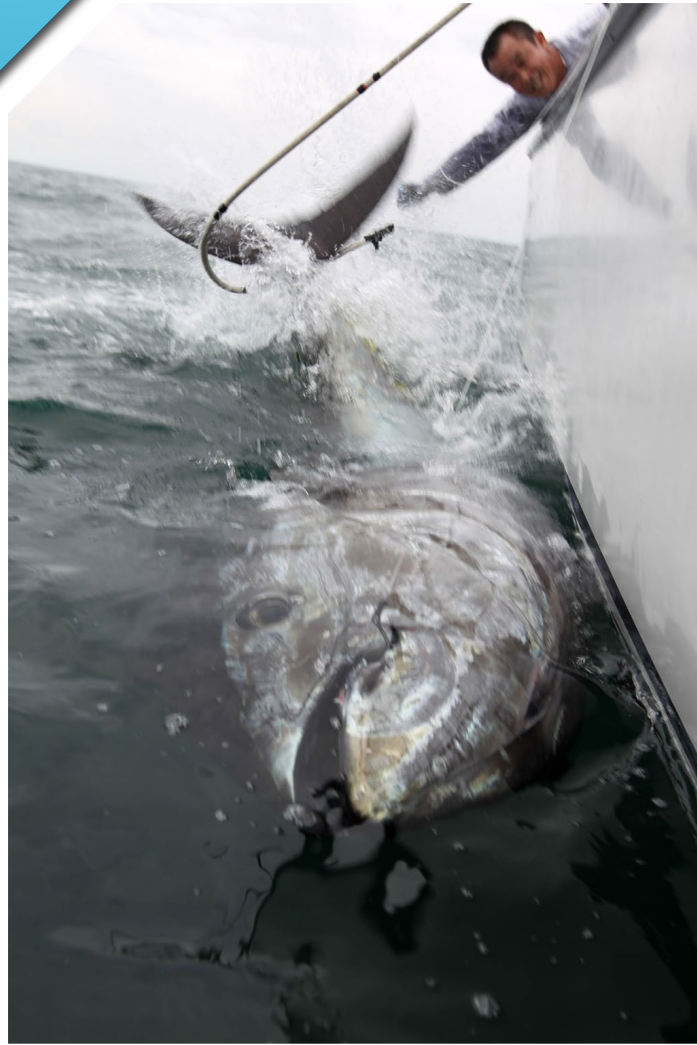
「ロスの寿司屋の主人が自分が釣ってきたヒラメを店の冷蔵庫に入れておいた。これが調査で見つかり、コマーシャルのライセンスを持たない人の魚と判定されて4000ドルの罰金を払うことになった。」



## 世界のスポーツフィッシング



海上では武装したDFG（各州にある連邦機関）と極稀に警察・コーストガードが乗船しての検査がある。Commercial, Sport Fishing共にレギュレーションやライセンスの管理はDFGが行っている関係で取り締まりはDFGがメインとなっている。これらの取り締まりだが、海上では遊漁船はもちろんカヤックまで、そしてオカッパリ、川、湖でも検査が行われている。アメリカでは魚種によるDaily Bag Limitと、Size Limit、Depth Limit、産卵期禁漁のTime Periodなどが厳しく決められている。



## 世界のスポーツフィッシング

カナダ・プリンスエドワード島のクロマグロ釣りは資源の回復に伴い2009年から再開された。原則はキャッチ＆リリースである。釣り船の船長は全員がコマーシャルのライセンス保持者。クロマグロの配分枠も持っているので客が釣ったマグロをキープすることもごくまれにある。

アベレージサイズは300キロ前後と世界の中でも突出して大きい。シーズンは7月下旬から始まり10月中旬ごろに終了する。ニシンが回遊したところが最盛期であり、魚探には大型のマグロが無数に表れる。



## 世界のスポーツフィッシング

日本人がプリンスエドワード島に釣りに行き始めたのは2011年からである。日本では一生かけても釣れないサイズが毎日のように釣れるので年々行く人は増えている。

2011年ころは5艇くらいしかなかった釣り船が世界中の注目を浴びるようになり5年後には30艇くらいまで増えた。クロマグロの遊漁はプリンスエドワード島東部の経済に大きく貢献している。

日本からは女性も毎年参加するようになり、今年は408キロという巨大なクロマグロが日本人女性によってキャッチ＆リリースされた。



# 世界のスポーツフィッシング

プリンスエドワード州の大西洋クロマグロ配分枠はカナダ全体の30.2パーセント、約143トンである。これを漁師に均等に配分する。サイズが大きいので一人当たり1.5匹前後となる。まず1匹が配分され、9月末にいったん締め切り、枠が残っていれば抽選でもう1匹配分される。ここの漁業はロブスター漁がメインで5月と6月に漁獲される。クロマグロの遊漁はリリースが基本なので資源を減らせずに安定した収入を得ることができる。ノースレイクの漁師は年に4か月しか海に出ないと聞いている。それでも広い庭の家に住み、大型のV8エンジンの新車を乗り回している。

2018 Inshore Fleet Quotas / Quotas des flottilles côtières en 2018	Fleet / Flottilles %	Quota 2018	2017 Adjustment/ Ajustement 2017	2018 Allocation
Prince Edward Island / Île-du-Prince-Édouard	30.02	142,407	0.908	143,315
Newfoundland / Terre-Neuve	12.84	60,910	2.098	63,008
Gulf New Brunswick / Golfe Nouveau-Brunswick	7.81	37,049	1.190	38,239
Quebec / Québec	5.09	24,146	1.968	26,114
Gulf Nova Scotia / Golfe Nouvelle-Écosse	11.27	53,462	3.424	56,886
Southwest Nova Scotia / Sud-Ouest de la Nouvelle-Écosse	21.7	102,939	1.099	104,038
St. Margaret's Bay / Baie St. Margaret's	11.27	53,462	1.769	55,231
Total		474,375	12,456	486,831

Note – Quebec's carry forward exceeded 10% / Le report du Québec dépasse 10%

2018 Other Quotas / Autres quotas 2018	Quota 2018	2017 Adjustment / Ajustement 2017	2018 Allocation
PLL Central NA (East of 54 Degrees, 30 Minutes) / PPP dans l'Atlantique Centre-Nord (est du 54° degré, 30 minutes)	15	-3.162	11,838
PLL (West of 54 Degrees, 30 Minutes) / PPP (ouest du 54° degré, 30 minutes)	18.76	0	18,76
Offshore / Pêche hauturière	20	0.5	20.5
Catch and release fishery / Pêche avec remise à l'eau	10	-	10





19:09 The Globe and Mail Inc. 95%

THE GLOBE AND MAIL

SUBSCRIBE LOG IN


THE 2018 CHEVROLET SILVERADO

THERE ARE FEWER LADDERS AND MORE HELPING HANDS.

Important Info

CHEVROLET

## Expanded catch-and-release fishery to lure tourists to PEI



In PEI, 360 people hold commercial licences to fish for bluefin tuna, which makes them eligible for the catch-and-release fishery.

JAY ROOKER/THE CANADIAN PRESS/JAY ROOKER/THE CANADIAN PRESS

**OLIVER MOORE** >  
PUBLISHED MARCH 8, 2011  
UPDATED MAY 1, 2018

Prince Edward Island fishermen smarting over low prices for their bluefin tuna are looking to attract international sport fishermen willing to pay big money to catch what Hemingway called "the king of all fish."

Although well aware of global concern over bluefin stocks, locals say the fish

SUPPORT QUALITY JOURNALISM JUST \$1.99 PER WEEK FOR THE FIRST 24 WEEKS START TODAY

The Globe and Mail Inc.

THE GLOBE AND MAIL

Expanded catch-and-release fishery to lure tourists...

In PEI, 360 people hold commercial bluefin licences, which make them eligible to apply to participate in the catch-and-release fishery. About 20 did so last year, a spokeswoman for Fisheries and Oceans Canada said.

"If people can still get value out of not killing a fish, that's an important thing worth developing," said Carl Safina, president and co-founder of the Blue Ocean Institute, although he believes the entire fishery is an "immoral" luxury trade.

Acadia University assistant professor of biology Michael Stokesbury, who led the study on mortality rates, said they tagged 59 bluefin off PEI. The tags recorded information about the fishes' movements and then popped off after a set period, floating to the surface and transmitting their data by satellite. The researcher said the data showed that only two of the 59 fish died.

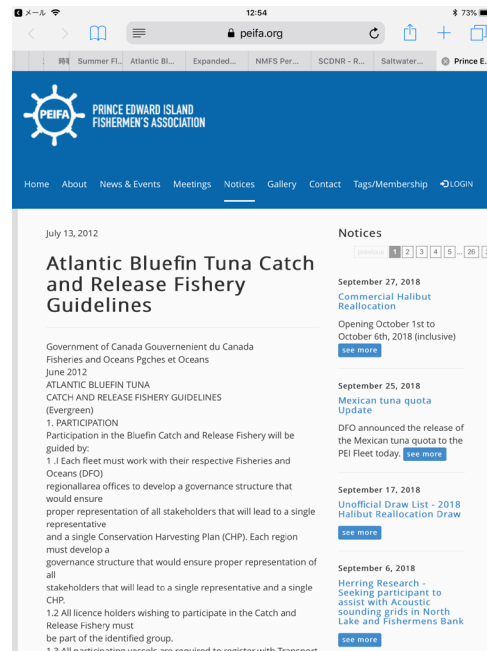
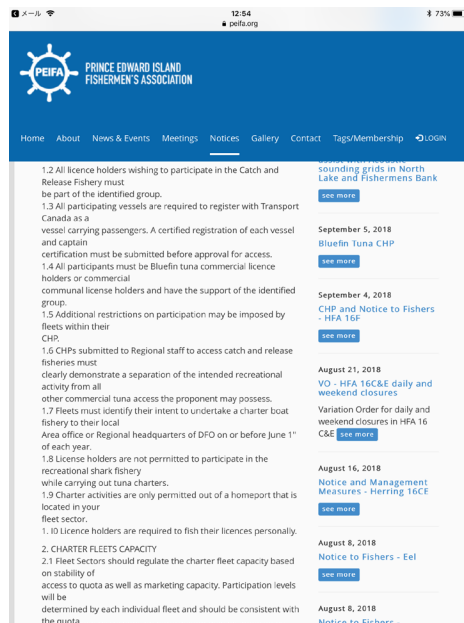
Feedback

# 世界のスポーツフィッシング

カナダでは巨大クロマグロの科学的な調査が何度も行われている。2012年には大学の研究者たちが59匹のクロマグロにポップアップ衛星タグを打ち、2匹しか死亡が確認されなかった。死亡率は3.4パーセントである。生存率の高いリリースを心がけることは資源回復にもつながる。

# 世界のスポーツフィッシング

プリンスエドワード州のキャッチ&リリース漁業のガイドライン。  
ライセンス、使用できる漁具（釣り具）、1日のファイトリミット、リリース方法などが釣人にもわかるようにウェブサイトで公開している。  
キャッチ&リリースという漁業があることに多くの日本人は驚く。





# 世界のスポーツフィッシング

主なルールは

「1日にファイトができるのは1艇2回まで。途中でばらしても40分以上ファイトすると1回とみなされる」

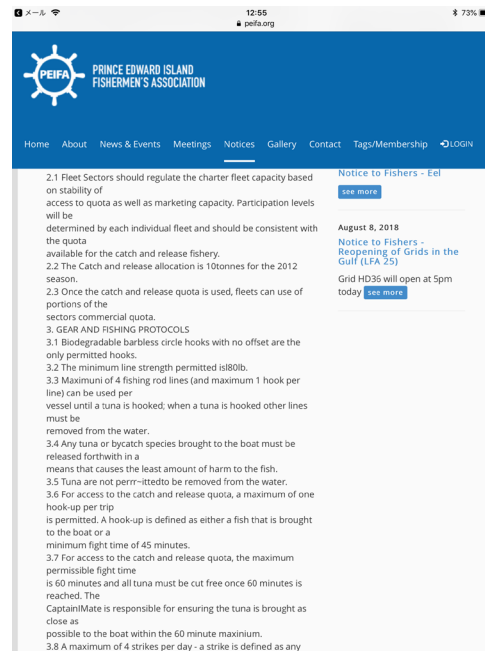
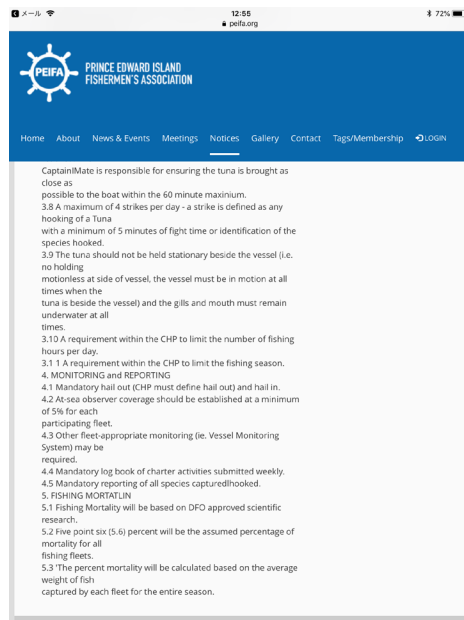
「180ポンド以上の強いラインを使い短時間でキャッチすることこころがける」

「キャッチしたマグロを水から上げてはいけない。また船を止めてもいけない。リリース用の用具を使い船を常に前進させてマグロを回復させてからリリースする」

「フックは生分解性のバークレスサークルフックを使うこと」

「釣り人がファイトできる時間は60分までとする。それを超えたら船長たちが手伝ってすみやかにキャッチ&リリースしなければならない」

「キャッチアンドリリースの死亡率は5.6パーセントとして計算される」





ルールを徹底させるための監視は厳しい。沖にはコーストガードの監視艇が頻繁に表れてファイトタイムのチェック、フックのチェックなどをやっている。

また船内に監視カメラを設置することもある。ごくまれだがオブザーバーが乗船することもある。

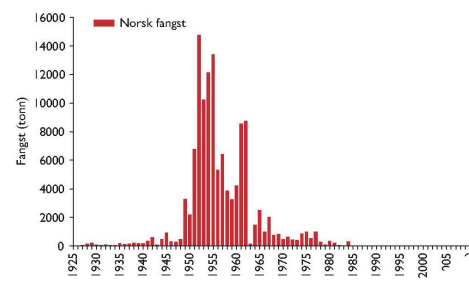
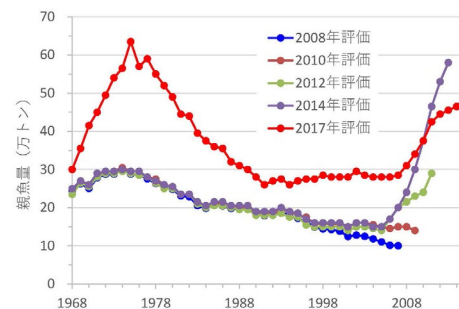
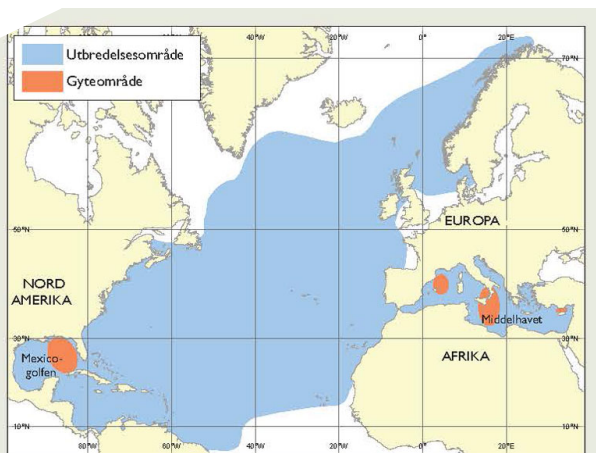
ちなみに俺は日本国内で一度もチェックを受けたことはないし、港で監視員などの目撃もない。我が国は完全に放置である。

## 世界のスポーツフィッシング



## 世界のスポーツフィッシング

大西洋クロマグロの生息図。暖流のメキシコ湾流がノルウェー沖まで流れているのでノルウェー北部まで回遊する。ノルウェーでは1950年代に最大15000トンの漁獲があったが、資源の減少に伴い50年以上も漁獲がほとんどなかった。2008年からICCATが厳しい漁獲管理をはじめたことで資源が一気に回復。昨年からノルウェーでは本格的にクロマグロ漁を再開した。





## 世界のスポーツフィッシング

我が国ではクロマグロのスポーツフィッシングは1997年ころから青森県などで始まったが、日本海側は資源の減少が著しく釣果は減る一方であった。

写真は青森県の小泊漁港だが、遊漁船やプレジャーボートが所狭しと並んでいる。すでにスペースはなく、空きを待つボートオーナーが200人以上もいると聞いている。

釣人はほとんど坊主で帰るのだが、人気は上がる一方である。

小泊は8月から10月までは宿も居酒屋も予約が取れないほど釣り人が集まる。宿や居酒屋、土産屋など、漁協以外は釣り人を歓迎している。



# 世界のスポーツフィッシング

アメリカやカナダの遊漁の取り組みを紹介したが、我が国はとなると、あまりの簡素さに呆れるしかない。

リリース方法など大切なことはどこにも載ってない。フックやキープ数などの規制も一切ない。また釣果を関係機関に報告する義務もない。

遊漁の枠は設けられてない。漁業が枠に達したら遊漁は自粛することが決められている。あくまでも漁業優先となっている。

都道府県別海域別の管理状況一覧

都道府県名	小型魚(30kg未満)		都道府県名	小型魚(30kg未満)	
	管理状況	管理状況		管理状況	管理状況
北海道	A		鳥取県		
青森県			島根県		
岩手県			岡山県		
宮城県			広島県		
秋田県			山口県		
山形県			徳島県		
福島県			香川県		
茨城県			愛媛県		
千葉県			高知県	A	
東京都			福岡県		
神奈川県			佐賀県		
新潟県			長崎県		
富山県			熊本県		
石川県	C	C	大分県		
福井県		B	宮崎県		
静岡県	C		鹿児島県		本県は目が視界が広いことにより、クロマグロのフックやキープ数などの規制は行われていない。フックやキープ数などの規制は行われていない。フックやキープ数などの規制は行われていない。
愛知県					
三重県					
京都府					
大阪府			沖縄県		
兵庫県					
和歌山県					

「管理状況」欄の凡例

A	全漁業者に採捕禁止命令が出されており、遊漁者も対象です。 クロマグロを対象とした遊漁は行われていません。 ※採捕禁止命令に該当せずクロマグロを釣ると、罰金が適用される場合があります。 ※クロマグロ以外を対象とした遊漁で、万が一、採捕禁止命令の対象サイズのクロマグロが釣った場合はリリースしてください。
B	全漁業者に漁業自粛の勧告が出されており、遊漁者も対象です。 クロマグロを対象とした遊漁は行われていません。 ※クロマグロ以外を対象とした遊漁で、万が一、漁業自粛の対象サイズのクロマグロが釣った場合はリリースしてください。
C	一部の漁業者に採捕禁止命令や漁業自粛の勧告が出されています。 遊漁者も対象になる場合がありますので、詳しくは都道府県へ確認ください。 ※都道府県によっては、漁産物、地域別、期間別に管理しており、漁産物、地域別、期間別に採捕禁止命令や漁業自粛の勧告が出されている場合、詳しくは都道府県へ確認ください。 ※採捕禁止命令に該当せずクロマグロを釣ると、罰金が適用される場合があります。 ※クロマグロ以外を対象とした遊漁で、万が一、漁業自粛や採捕禁止命令の対象サイズのクロマグロが釣った場合はリリースしてください。

## 遊漁者・遊漁船業者の皆様へ

### クロマグロ(メジ、ヨコワ、シビ等)の採捕数量制限を実施中！

#### なぜクロマグロの資源管理をするの？

- 太平洋クロマグロは、近年、資源が悪い状態が続いています。
  - 国際約束として
    - ① 小型魚(30kg未満)は、2002～04年の平均漁獲実績から半減
    - ② 大型魚(30kg以上)は、2002～04年の平均漁獲実績から増加させない
- ことを内容とする厳しい数量制限を実施しています。
- ※中西経太平洋まぐろ類委員会における合意

#### 漁獲可能量制度に基づく資源管理とは？

- 「海洋生物資源の保存及び管理に関する法律」に基づき、
  - ① 漁業種類別、都道府県別等に採捕量の上限を設定
  - ② 採捕量が上限に近づいたら、国や都道府県から採捕禁止命令を発出します。
- 漁業者と同じ資源を利用している遊漁者も対象となります。

#### 採捕禁止命令が出たらどうなるの？

- 採捕禁止命令が発出された場合は、クロマグロを釣ることはできません。釣れてしまった場合はリリースしてください。
  - 命令発出後にもかかわらず、クロマグロを釣ると罰金が適用される場合があります。
- ※平成30年7月から
- 【罰金】3年以下の懲役若しくは200万円以下の罰金又は懲役・罰金の両方

釣行前には必ず各都道府県における状況等を水産庁のWebサイト等で確認してください。

[http://www.jfa.maff.go.jp/yugyo/y\\_kuromaguro/kyouryokurai.html](http://www.jfa.maff.go.jp/yugyo/y_kuromaguro/kyouryokurai.html)



クロマグロ 遊漁 検索

#### ～遊漁船業者の皆様へ～

- クロマグロを対象とする遊漁船業者の皆様には、遊漁船業の登録をしている各都道府県から提示等があります。
- 他の都道府県海域で釣りを行うおとする場合には、その海域における状況をそのWebサイト等で確認してください。



水産庁  
【お問合せ先】水産庁漁業調整課沿岸・遊漁室  
TEL 03-3502-6111(内線702)

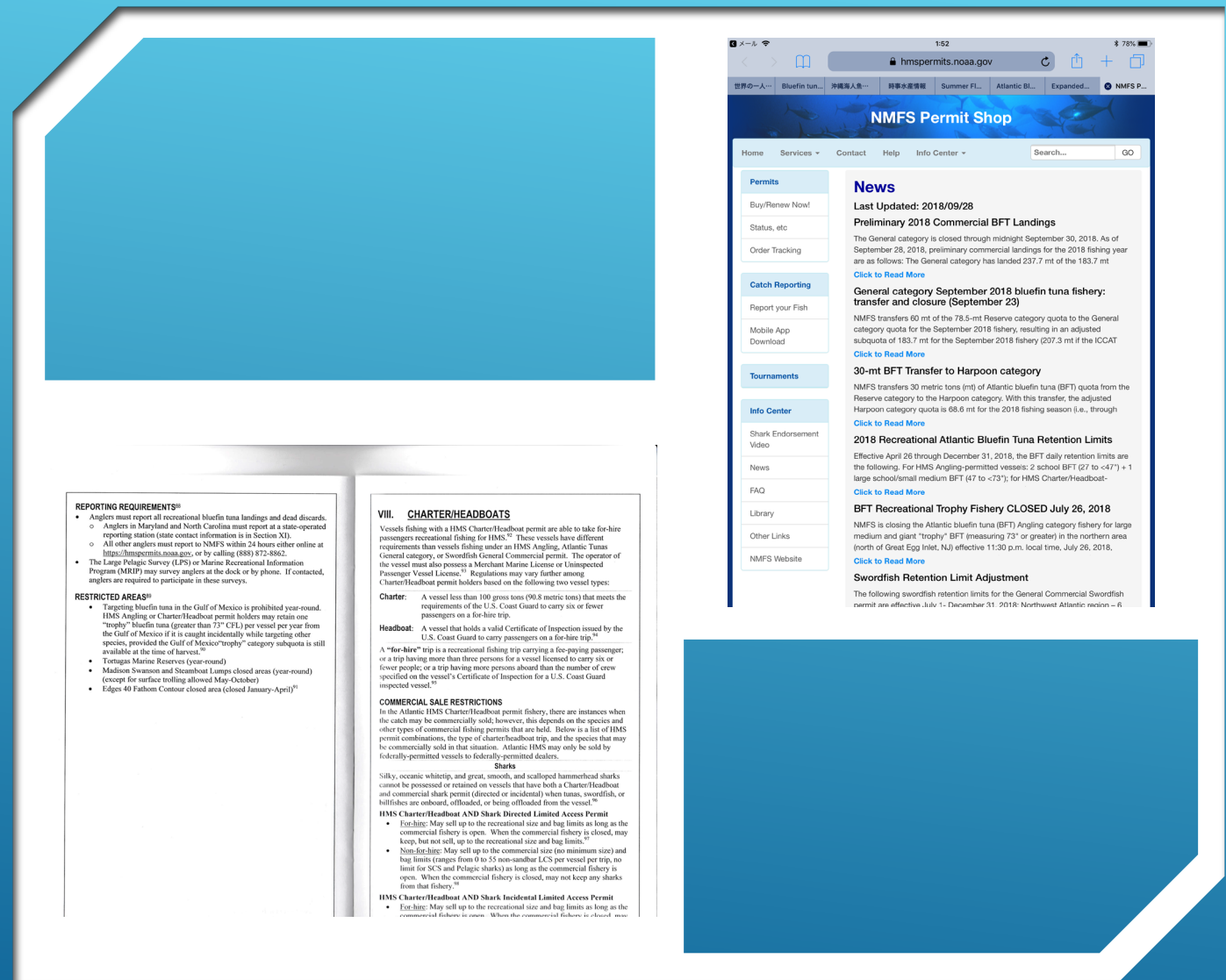
遊漁者の皆様にもクロマグロ資源の  
早急な回復のためご理解とご協力をお願いします！

# 世界のスポーツフィッシング

アメリカはキープ、リリースに関わらずクロマグロは24時間以内に関係機関に報告することが義務付けられている。これはコマーシャル（専業）にもスポーツにも適用される。

NOAAやNMFSのサイトには最新情報やルール変更などがリアルタイムにアップされている。レギュレーションは1年のうちにも何度も変わることがあるが、釣り船も釣り人も即座にその変更を知ることができる。

透明、公平という大切なことがいろいろなところから確認できる。今の日本に求められているのはこの2点だろう。



## REPORTING REQUIREMENTS<sup>10</sup>

- Anglers must report all recreational bluefin tuna landings and dead discards.
  - Anglers in Maryland and North Carolina must report at a state-operated reporting station (state contact information is in Section XI).
  - All other anglers must report to NMFS within 24 hours either online at <https://hmspermits.nmfs.gov>, or by calling (888) 872-8862.
- The Large Pelagic Survey (LPS) or Marine Recreational Information Program (MRIP) may survey anglers at the dock or by phone. If contacted, anglers are required to participate in these surveys.

## RESTRICTED AREAS<sup>11</sup>

- Targeting bluefin tuna in the Gulf of Mexico is prohibited year-round. HMS Angling or Charter/Headboat permit holders may retain one "trophy" bluefin tuna (greater than 73" CPL) per vessel per year from the Gulf of Mexico if it is caught incidentally while targeting other species, provided the Gulf of Mexico "trophy" category subquota is still available at the time of harvest.<sup>12</sup>
- Tortugas Marine Reserves (year-round)
- Madison Swanson and Steamboat Lumps closed areas (year-round) (except for surface trolling allowed May-October)
- Edges 40 Fathom Contour closed area (closed January-April)<sup>13</sup>

## VIII. CHARTER/HEADBOATS

Vessels fishing with a HMS Charter/Headboat permit are able to take for-hire passengers recreational fishing for HMS.<sup>14</sup> These vessels have different requirements than vessels fishing under an HMS Angling, Atlantic Tunas General category, or Swordfish General Commercial permit. The operator of the vessel must also possess a Merchant Marine License or Uninspected Passenger Vessel License.<sup>15</sup> Regulations may vary further among Charter/Headboat permit holders based on the following two vessel types:

**Charter:** A vessel less than 100 gross tons (90.8 metric tons) that meets the requirements of the U.S. Coast Guard to carry six or fewer passengers on a for-hire trip.<sup>16</sup>

**Headboat:** A vessel that holds a valid Certificate of Inspection issued by the U.S. Coast Guard to carry passengers on a for-hire trip.<sup>17</sup>

A "for-hire" trip is a recreational fishing trip carrying a fee-paying passenger; or a trip having more than three persons for a vessel licensed to carry six or fewer people; or a trip having more persons aboard than the number of crew specified on the vessel's Certificate of Inspection for a U.S. Coast Guard inspected vessel.<sup>18</sup>

## COMMERCIAL SALE RESTRICTIONS

In the Atlantic HMS Charter/Headboat permit fishery, there are instances when the catch may be commercially sold; however, this depends on the species and other types of commercial fishing permits that are held. Below is a list of HMS permit combinations, the type of charter/headboat trip, and the species that may be commercially sold in that situation. Atlantic HMS may only be sold by federally-permitted vessels to federally-permitted dealers.

## Sharks

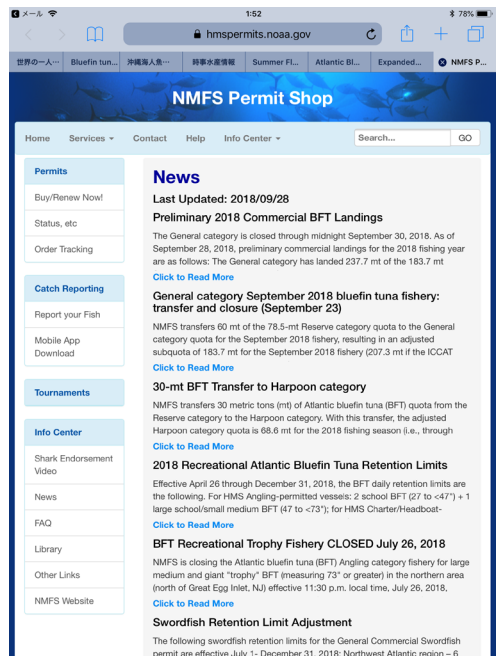
Silky, oceanic whitetip, and great, smooth, and scalloped hammerhead sharks cannot be possessed or retained on vessels that have both a Charter/Headboat and commercial shark permit (directed or incidental) when tunas, swordfish, or billfishes are onboard, offloaded, or being offloaded from the vessel.<sup>19</sup>

## HMS Charter/Headboat AND Shark Directed Limited Access Permit

- For-hire: May sell up to the recreational size and bag limits as long as the commercial fishery is open. When the commercial fishery is closed, may keep, but not sell, up to the recreational size and bag limits.<sup>20</sup>
- Non-for-hire: May sell up to the commercial size (no minimum size) and bag limits (ranges from 0 to 5 non-sandbar LCS per vessel per trip, no limit for SCS and Pelagic sharks) as long as the commercial fishery is open. When the commercial fishery is closed, may not keep any sharks from that fishery.<sup>21</sup>

## HMS Charter/Headboat AND Shark Incidental Limited Access Permit

- For-hire: May sell up to the recreational size and bag limits as long as the commercial fishery is open. When the commercial fishery is closed, may





## 提言

海を国民の共有財産とするためには、スポーツ（遊漁）も厳格な管理が必要不可欠となる。

「海は国民みんなで守っていく」という意識が大切。

※遊漁、レクリエーショナルフィッシング、レジャーフィッシング、スポーツフィッシングを「スポーツ」に一括。

1. ライセンス制とレギュレーションの導入  
ただで遊ぶという意識を変える。払ったお金は未来への投資。

### ライセンス制導入

ライセンス制にすることにより、釣人のマナー、モラルの向上にもつながる。ライセンス制の必要性、そしてそのライセンス料の流れなどを釣人に伝えていくことが重要。ライセンス制にすれば正確な釣り人口も判明する。

### レギュレーション導入

サイズリミット（大きさ制限）、バググリミット（匹数制限）を設ける。沿岸（3海里）の魚は地方が管理、沖200海里までは国が管理する。

2. 魚類野生生物局を農林水産省（水産庁）以外に設置。経済産業省、環境省、厚労省内など。

信託基金を設立、それを各都道府県に配分、釣りの振興を進める。

3. 各都道府県内にスポーツフィッシング課を設けて、ライセンス制、レギュレーションを管理する。レギュレーション関係のパンフレットの無料配布。学校教育でもレギュレーションの必要性を伝えていく。

### 4. スポーツフィッシングの枠

沖合の回遊魚は国が管理、クロマグロなどのスポーツ枠を設ける。各都道府県では沿岸魚のスポーツ枠を設ける。

### 5. 釣り場の開放と保護、規制、監視

日本で禁止されているトローリングの開放。危険水域での釣り禁止、産卵場の保護、監視、罰則の徹底（監視、罰則がなければ違反行為は減らない。これは日本の密漁が減らないのと同じ）

# 世界のスポーツフィッシング

## 6. 釣り公園、公営キャンプ場などの増設

国民共有の財産であるなら、国民のために海岸、河川、湖沼などを国民に使いやすくする。利用者を増やすことにより地方創生にもつながる。

## 7. 公共マリーナの増設

アメリカやオーストラリア、ニュージーランドなど、資源の豊かな国は国民のための施設が充実している。日本に多くある漁港だが、漁師が激減したことでほとんど使われてない漁港が多い。スポーツ、観光などに利用率の低い漁港は開放していくべきである。

## 8. 自然と触れ合う環境づくりと教育

海の未来を守るために何が必要なのか？

自然への国民の意識を高めることが日本の未来につながる。そのための教育と環境作りがまだまだ不十分である。自然と触れ合う教育と時間を増やすこと。

## 9. スポーツフィッシングの対象魚の資源調査と生息環境の改善

レギュレーションを設けるためには科学的な資源調査が必要となる。資源に応じてレギュレーションは決めていかなければならない。そしてリアルタイムに釣果データを集めるシステムを作成すること。ゴミ問題、汚染問題、そのような調査も必要であり、改善、保護にも力を入れていく。

## 10. スポーツフィッシングの経済効果を調査

釣り具の売り上げ、乗船料、宿泊費、交通費、釣りのための釣り具以外の購入（ボート、車など）など釣り人が使うお金の総額を調べる。そしてそれを基準に全国での釣り振興を計画していく。地方創生のためにも必要な調査である。